令和８年１１月１７日
１４３０～１４４２

空幕長記者会見

１　発表事項等

本日は私から２点申し上げます。１点目につきましては、フィリピン空軍司令官の公式招へいについてであります。１１月１０日から１２日までの間、フィリピン空軍司令官コーデュラ中将を、航空幕僚長として公式招へいいたしました。この公式招へいの具体的な内容といたしましては、市ヶ谷基地において懇談及び意見交換を行うとともに、入間基地及び小松基地において部隊研修を実施いたしました。本招へいを通じて、コーデュラ中将には、航空自衛隊の任務、能力等に関する理解を深めていただくとともに、訓練や演習、人材育成、専門家交流等に関する意見交換を行い、日フィリピン空軍種間の防衛協力・交流をさらに進展させることができたと認識しております。航空自衛隊は、引き続きフィリピン空軍との防衛協力・交流を推進するとともに、地域の平和と安定に寄与してまいりたいと考えております。

２点目としましては、９月１５日に発生いたしました、三沢基地所属ＲＱ－４Ｂグローバルホークの墜落事故について申し上げます。事故発生以降、関係機関と連携し、現場海域及び沿岸部等において機体の捜索・回収活動を実施してまいりましたが、先月１０月２９日をもって一連の捜索・回収活動を終了いたしました。回収物につきましては、三沢基地への移送を完了しております。現在、回収物、飛行通信データ、整備記録等の調査分析を進めており、あらゆる可能性を排除することなく、客観的な事実に基づき、慎重かつ徹底した事故原因の究明に取り組んでおります。また、訓練飛行の再開につきましては、現時点で具体的な時期を申し上げられる状況にはありませんが、現在、事故調査の進展状況、安全性評価、当該機種の点検状況等を総合的に勘案しつつ、慎重に検討しているところであります。最後に、これまでの捜索・回収活動にご協力いただきました地域の皆様、漁業関係者の皆様及び関係機関の皆様に、改めて感謝申し上げます。

２　質疑応答

Ｑ　グローバルホークについてですけど、現在２機での運用となっておりますが、必要な警戒監視態勢は維持できていらっしゃるのでしょうか。

Ａ　現在、他の各種情報収集・警戒監視手段の適切な活用を含めまして、我が国の情報収集・警戒監視に間隙を生じさせることのないよう、自衛隊として必要な態勢

を維持しております。引き続き、我が国の情報収集・警戒監視に間隙が生じることのないよう、対応に万全を期してまいりたいと考えております。

Q　今朝、午前４時過ぎのロシア機とみられる２機の領空侵犯の件なんですが、これは機種、どんな軍用機かというのは、すでに分かったのかどうか、まずお聞かせください。

A　まず、事実関係から申し上げます。すでに公表してますとおり、本日午前４時７分頃から同４時１０分頃にかけまして、推定ロシア機１機が、また午前４時９分頃から同１２分頃にかけて、別の推定ロシア機１機が、福岡県沖ノ島北西の我が国領海上空を侵犯したことを確認いたしました。これに対しまして、航空自衛隊西部航空方面隊の戦闘機を緊急発進させて、通告や警告を行うなどの対応を実施したところであります。ただいまご質問のありました、機種については特定できたかといったところにつきましては、現段階では特定できておりません。先ほどご説明したとおり、推定ロシア機であります。

Q　ロシア軍による領空侵犯では、２０１３年にもロシア軍のＴｕ－９５戦略爆撃機２機が、この同じ沖ノ島北西空域で領空侵犯したと思いますが、２０１３年と今回似かよったところはあるんですか。ロシア側のやってきた経緯とかですね、ルートとか、そのあたりの分析はどうなんでしょうか。私の質問の意図は、恒常的になるおそれがあるのかどうかとか、いろいろ想像してしまうんですけど、そのあたりはどうなんでしょうか。

A　ご質問をいただいたところでありますが、対馬海峡付近におきましては、ソビエト連邦時代を含めまして、過去にロシア機が、今回の事案を含めますと７回、領空侵犯をしているところであります。その時の状況と逐一、今回がどういった状況だったかといったことについては、運用に関わる事項ですので、現段階では細部についてはお話をすることはできませんということを、ご承知おきいただきたいというふうに思います。航空自衛隊としましては、ロシアの軍事動向に対しまして、引き続き強い関心を持って注視するとともに、冷静かつ毅然と警戒監視及び対領空侵犯措置に万全を期してまいりたいと考えております。今後も、国民の生命と財産及び我が国の領土・領海・領空を断固として守り抜くために、必要な措置を、毅然とかつ冷静にとってまいりたいと考えています。

Q　今回の領空侵犯の関係でお伺いします。今回の空自の対応についてなんですけども、西空の方で対応されたということですけども、具体的にどのアセットを使ったかということ、どの戦闘機を使ったかということをお伺いします。

A　今ご指摘のとおり、航空自衛隊の西部航空方面隊が対応いたしました。具体的に機種ということでしょうか。どの機種を使ったかといったところにつきましては、

我が方の手の内を明らかにするおそれがありますので、回答を差し控えさせていただきたいというふうに思います。

Q　また、通告と警告をされているということですが、具体的にどのようなことをされたのか。２０２４年の場合は、フレアを使用したという事案もあったかと思うんですけど、そうしたことはあったのかなかったのかと思いまして。

A　通告や警告につきましては、地上から複数回にわたって無線で通告、警告を行うとともに、航空自衛隊の戦闘機、緊急発進しました戦闘機によって複数回にわたって通告、警告を無線で行っております。

Q　無線で。

A　はい。

Q　グローバルホークの関係なんですけれども、事故原因の究明をされているということなんですけれども、事故原因の調査結果の公表の時期の見通しは、今あるのでしょうか。それと、あとは事故原因、過去にもあったと思うんですけれど、事故原因を公表する前に中間報告も実施されていたかと思うんですけど、今回もそういった手続きを取るのでしょうか。

A　事故調査結果につきましては、取りまとまり次第、公表すべき内容を精査の上、適切に公表してまいりたいと考えております。また、現時点において事故調査中であることから、具体的な公表時期についてはお答えは差し控えさせていただきたいと思いますが、途中経過については、申し訳ございません、私自身、途中経過でご説明させていただいたかどうかというのは記憶にはありませんが、適切な時期に事故調査結果につきましては、適切に公表させていただきたいと考えております。

Q　昨年のＦ－２が落ちた時でも、確か中間報告があったかと思うんですけれども、そういった方法を取るのかどうか。

A　私の記憶では、なかったか、中間報告はしていないような記憶がありますが、確認させてください（※）。今回もその予断を持って、いつどういった事項を公表できるかというところについては、現段階では分かりませんので、少なくとも事故調査結果については、しっかりと公表させていただきます。その前の段階でどのような途中経過、どういった事故調査をしているかといったところも含めて、公表できるものについては、検討させてください。どういう形になるのか分かりませんが、状況について、お伝えできるものについては、お伝えさせていただきたいと思います。

Q　今日、航空幕僚長が発表いただくまで、１０月２９日にグローバルホークの捜索、沿岸での回収作業が終了したというところを、空幕として発表していないという

か、美保基地のホームページ上で１０月２９日に終わりましたよというのは見れたんですけど、それも上がっていただけで、我々が知れる機会があまりなかったというのが正直ありまして。一番最初の事故の発表は空幕からされていて、美保基地はどちらかというと捜索回収には当たられたかとは思うんですけれども、三沢基地の所属の飛行機ということもあって、どこからどういうふうに情報発信をすべきかというところを、我々もどうあるべきかというのを考えたんですけれども、なかなか難しかったんですが。１０月２９日に美保基地のホームページだけで回収を終了しましたというふうになった経緯が、もしあれば教えてください。

Ａ　まず、公表についてご指摘は承りました。公表についての考え方をお話しさせていただきたいと思います。海域における機体の引き上げ作業につきましては、事故原因の究明に向けた機体回収の進捗として、航空幕僚監部から公表してまいりました。一方、その後、継続した沿岸部等における捜索・回収活動につきましては、地域の皆様や関係自治体等と緊密に連携しながら、美保基地を中心に実施していたことから、その終了につきましても、美保基地から関係自治体等へ情報提供、それからホームページへの掲載によりお知らせしたものであります。こういった考え方で公表してまいりました。また、航空幕僚監部と美保基地につきましては、必要な情報を共有して連携して対応しておりまして、航空自衛隊として必要な情報を適時適切にお伝えしてきたものと考えておりますが、今ご指摘がありましたので、どういった公表の仕方が適切かといったところにつきましては、今後、皆様方と話をさせていただいて、できるだけ国民の皆様にお伝えできるような形で、より適切な方法を探っていきたいと思っております。

Ｑ　仮に場所が結構離れていたりした場合でも、例えば向こうで発表しているということを参考で、例えば張り出していただくとか、我々もずっと関心を持ってやっているテーマではありますので、可能な限りの情報提供をいただきながら、いろいろ出せるものというのは出していければなというふうに思っておりますので、ご検討も含めてお願いします。

Ａ　承りました。

（以上）

後刻、以下のとおり説明

※：下線部『百里基地所属Ｆ－２Ａ搭乗員の緊急脱出事案の際は、訓練飛行の見合わせ解除について、臨時記者会見及び公表を実施』

【定例記者会見動画】https://youtu.be/OkIafLEKpEk?si=j1nhx2DomtvitIeB